

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年11月24日(火)19:30～

会場：ZOOM ミーティング

- 一般講演抄録 2-

広汎型重度慢性歯周炎患者にインプラントとMTMを用い咬合再構成を行った症例

山田宗敬 やまだ歯科 〒862-0963 熊本県熊本市南区出仲間 7-1-36

■抄録

重度歯周炎に罹患し臼歯部のパーティカルストップが弱体化すると前歯部にはフレアアウトが生じ咬合崩壊へ向かう。その際、インプラントは義歯に比べ強固な咬合支持を担うことができるため咬合崩壊の阻止に寄与しうる。一方で歯周炎の存在自体がインプラント周囲炎のリスクになるばかりか、骨吸収により既存骨が少ない場合はインプラントの難症例となる。歯周病患者に対するインプラント治療は有益だが、注意点も多いといえる。

今回、広汎型重度歯周病で咬合崩壊へ向かう可能性の高い症例を経験した。動揺度の大きな臼歯部を保存すべきかどうか悩んだが、ある程度治療を行い回復が見込めない歯に関しては抜歯してインプラント、連結で動揺が収まりそうな歯はブリッジで補綴をすることにした。上顎臼歯部インプラント埋入に当たっては既存骨が少ないためリッジプリザベーション後、ソケットリフトを併用した。臼歯部プロビジョナルレストレーションを装着し前歯部の部分矯正を行い歯列を整え最終補綴装置に移行する予定である。現在治療の途中であるがこれまでの経緯を報告する。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません。